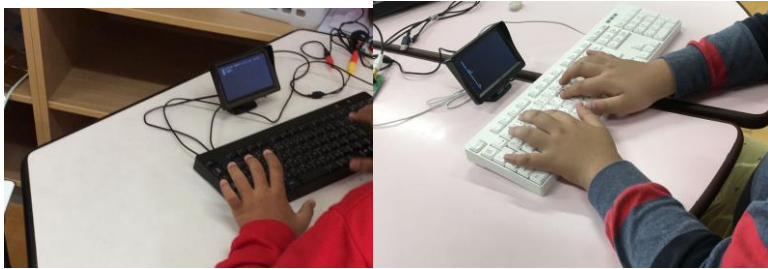



小学校プログラミング教育の実施レポート

学習活動名	「はじめてのテキストタイピング」
学年	特別支援学級 5,6年 総合的な学習 C分類
目標	○ASDFGHJKLのタッチタイピングができる。 ○意図した動きを実現するには、どのような命令をすればよいか考える。
教材タイプ	シングルボードコンピュータ テキスト言語
使用教材	Ichigojam
環境	児童 1~2名で 1~2台の Ichigojam を使用
都道府県	大分県
実施校	臼杵市立福良ヶ丘小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>【学習活動の概要について】Ichigojam は Ichigojam Basic と呼ばれる言語でプログラミングを楽しむシングルボードコンピュータであり、モニターとキーボードをつなぐと簡単な PC になる。タッチタイピングに対する興味関心を高めるために、まずは教員がプログラムしたタッチタイピングプログラムに取り組んだ。プログラムによりランダムに発生する「JKL」を右手の人差し指、中指、薬指のみで合計 10 文字入力するタイムを競うものである。その後、プログラムを少し修正し「ASDFGH」も追加した。テキストプログラミングに興味・関心を持ったところで Ichigojam の入門プログラムである「Lチカ (LED を点灯させるプログラム)」を体験した。</p>  <p>【活動の様子】</p> <p>児童は、普段 iPad をメインで使っているのので、キーボードを用いたタイピングへの興味・関心は高かった。タイピングのタイムが短縮されていくことが活動のモチベーションとなった。その後、プログラムの変更するところを実際に見て、テキストプログラミングに興味・関心を持ったようた。Lチカプログラムを少し解説した後、児童が実際にプログラムを入力した。数か所入力ミスがあり、LED が点灯しなかった。実際のコードと比較してデバッグして LED が点灯した時に、1か所でも入力ミスがあると思った通りに作動しないことが理解できた。</p> 
成果と課題	簡単なテキストプログラミングを体験し、文字で入力した命令でプログラムが動くことに喜びを感じていた。指導方法と発展指導題材の選択が今後の課題である。